



# tasar

Japan Tasar Association  
<http://www.tasarjapan.org/>

# 112

Tasar News Letter  
Vol.112



© 日本テザー協会

22 艇が参加した第 36 回テザー級全日本選手権。初日は 25 ノットの強風レースになりました。

## 目次

### 1) JTA 会長からのご挨拶

### 2) 協会からのお知らせ

2021 年度行事

2021 年度テザー年次総会のご案内

2022 年度年間レーススケジュール

世界選手権大会、WMG 情報

### 3) レースレポート

スプリングレガッタ

WMG プレレガッタ

西日本選手権

第 36 回全日本選手権

ウインターレガッタ

### 4) 特別寄稿

クラスルール「C6」について

2021年の全日本選手権が無事終わりました。今年も結局コロナウイルスに翻弄される1年間になってしまいました。協会理事の方々には年間を通じて一生懸命イベントの準備をしてくれましたが、今回も22艇という過去最低の出艇数になってしまい、残念かつ力不足を感じた全日本でした。そんな中でも大学を卒業したばかりの大学院生のチームが2艇も出場してくれたことは明るい材料でした。大会後、全日本優勝チームである松苗さんから、「学生選手権を開催しないか？」という提案をいただきました。まだJTAが立ち上がったばかりの頃（30年以上前！）、1回だけ葉山で行われた学生選手権では、横浜国大の現役学生が出場しました。彼らは卒業後もしばらくコンパスポイントで活動されていたことから、Tasar セイラーを増やすという実績（言い過ぎかもしれませんが）があったのかもしれません。第2回が行われなかった理由は憶えていませんが、実現するには超えなければならない課題が多いのだと思います。何とか実現して若いTasar セイラーを増やしたいと考えています。お手伝いしてくれる方、募集中です。

さて、2022年の5月に行われる予定だったワールドマスターズゲームでしたが、皆さんご存知の通り2026年に延期になってしまいました。延期の理由は、やはりコロナウイルスです。この大会を目指してチームを組んでいた方も多かったので、本当に残念です。しかも2026年は、日本でTasarの世界選手権の開催の可能性があった年で、玉突きで2027年になる可能性があります。たとえ感染の拡大が収まったとしても、この2年間の厄災の影響が本当に長く続いてしまうのだなと思ってしまいます。2022年の9月には、アメリカ、シアトルでTasarの世界選手権開催が予定されています。この世界選手権の開催についても課題が山のようにあります。先日この課題について話し合うためにワールドTasar カウンシル(WTC)がオンラインで行われました。おそらく初めてオンラインで行われたWTCだったのではないかと思います。正式な議事録は出ていないのですが、簡単なサマリーをJTA通信に載せました。WTCをやってみると、Tasarを楽しむ輪はやっぱり海外とも繋がっているということを実感します。どの国もコロナで困っている中、精一杯セーリングを楽しもうとしています。さらに世界選手権の開催のために知恵を絞り、できるだけ沢山の人が参加できるように頑張っているのを感じることが出来、朝早く大変だったのですが、温かい気持ちになれました。

来年こそは少なくとも国内レースだけでもコロナを考えないでレースができるようにと願うばかりです。来年の活動について総会で話し合うべき話題の一つ、クラスルールC6に関して、メジャーの軽部さんに解説を書いていただきました。読んで総会に臨んでいただけたらと思います。（2021年11月30日）

## 協会からのお知らせ

### 2021年度行事（協会公式イベント）

引続きコロナウイルスの影響で活動に制約があり、2つのレースがこれまで中止となりましたが、今年度は全日本選手権を含め5回の公式レースを開催することができました。

#### JTA 公式レース

スプリングレガッタ	（稲毛/4月24-25日）	優勝 伊藤/村岸組（全13艇）
WMG プレレガッタ/アーリーサマーレガッタ	（和歌山/5月22-23日）	優勝 伊藤/村岸組（全13艇）
西日本選手権	（芦屋/7月11日）	優勝 秋山/村山組（全12艇）
ミッドサマーレガッタ	<del>（猪苗代湖/8月28-29日）</del>	中止
オートムレガッタ	<del>（大阪北港/9月19日）</del>	中止
第36回全日本選手権	（浜名湖/10月23-25日）	優勝 本吉/松苗組（全22艇）
ウィンターレガッタ	（蒲郡/12月12日）	優勝 関口/植松組（全5艇）

## 2021 年度テザー協会年次総会のご案内

昨年同様 2 月にオンラインでの年次総会を予定しています。開催日程確定次第メーリングリストにて案内します。残念ながら当日参加できない会員の方は、委任状の提出をよろしくお願いいたします。

## 2022 年度年間スケジュール

来年のレーススケジュールは、現状下記を予定しています。

4 月	スプリングレガッタ (葉山)
6 月	アーリーサマーレガッタ (山中湖)
7 月	西日本選手権 (芦屋)
8 月	ミッドサマーレガッタ (和歌山)
9 月	テザー級世界選手権 (アメリカ：シアトル)
9 月	オータムレガッタ (稲毛)
10 or 11 月	全日本選手権 (江ノ島)
12 月	ウィンターレガッタ (蒲郡)

## 世界選手権/ワールドマスターズゲームズのお知らせ

### ◆テザー級世界選手権大会 2022

アメリカ西海岸 Shilshole Bay で 2022 年 9 月 16-24 日開催予定。冒頭会長挨拶にもありましたとおり、コロナの影響やコンテナ輸送の課題もあり、開催に向け WTC (World Taser Council) でも議論が続いています。JTA から随時情報発信していきます。また Slack と言われるメッセージアプリ上に WTC のチャンネルを設けています。

### ◆ワールドマスターズゲームズ 2021 関西

2021 年 11 月 25 日 残念ながら大会の再延期が発表されました。新たな会期の決定については、国際マスターゲームズ協会 (IMGA) と協議中とのことで現時点発表されていません。続報あり次第、JTA から情報発信していきます。

## スプリングレガッタ（稲毛） 4/24～25

### 初夏の風で 8 レース実施。稲毛テザーズスプリングレガッタ 2021

4月24、25日に千葉県稲毛ヨットハーバーで「テザーズスプリングレガッタ」が開催されました。例年は葉山で開催されているスプリングレガッタですが、今年は東京五輪準備の影響で稲毛ヨットハーバーでの開催となりました。



緊急事態宣言が始まるという中で、エントリーは13艇という若干少ない艇数でしたが、参加者の実力は拮抗していて、熱い戦いが繰り広げられました。

稲毛のこの時期の通常の風は微軽風でシフティー、繊細な風の読みや微風下における細やかなテクニックを要求されるのですが、今回の大会期間中の風は、この地では珍しいといっても過言ではない安定した南風に恵まれました。

いつもであれば風のシフトに合わせて何度もマークを打ち換えるのが稲毛でのレースの常ですが、運営メンバー・選手共に、いい意味で裏切られる良い風・良い波・良い天気之恩恵を受け、2日間で計8レースをテンポよく実施することができました。

初日は260度の風向で3～4m/sの軽風で2-1-2-1を付けた伊藤／村岸（江ノ島F）と1-2-1-2の田中／田中（稲毛F）が同点のTOP争い、3-5-4-3の池田／池田（稲毛F）と4-4-3-4の山村／稲川（稲毛）が同点の3位争い、と上位4艇が後続を引き離します。

2日目は240度の風向で6～7m/s。テザーズでは全チームがフルハイクというコンディションです。初日トップ争いにいた田中／田中が不在となり、伊藤／村岸の独走かと思われた第5レースは混戦の様相を呈します。初日3位の池田／池田がTOPフィニッシュを飾り、亀山／井上（稲毛F）、関口／平尾（江ノ島/稲毛F）が続きます。

しかし、第6レースから更に風があがり、昨年度公式戦全勝したヘルムスマンの伊藤一石が安定のトップフィニッシュ2連続で優勝を確実にします。最終第8レースは2日目4-3-2と上げてきた山村／稲川がTOPフィニッシュを決め、レガッタが終了しました。

最終成績は、総合優勝・マスタークラス優勝が伊藤／村岸。今年も快進撃なるか？ そして追いつけた山村／稲川が2位、池田／池田が3位、グランドマスタークラス優勝は初日の逃げ切りで田中／田中となりました。



© 写真提供 / 日本テザー協会

今回初めてテザーのレガッタに参加したメンバーは6名。比較的若いセーラーも参入してくれました。ヘルムスマン/クルー共に初めてテザーのレースに出た学連出身の北島/井戸(葉山F)はレガッタ中に3位を2回取り、今後の活躍に期待です。



© 写真提供 / 日本テザー協会

2021年度 テーザーズプリングレガッタ 成績表

2021年4月24-25日 稲毛ヨットハーバー

順位	セーラーNo.	Boat Name	クラス	スキッパー	クルー	フリート	race1		race2		race3		race4		race5		race6		race7		race8		合計	修正	
							順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点			順位
1	2741	ZRex	M	伊藤 一石	村岸 恭明	江ノ島	2	2	1	1	2	2	1	1	8	8	1	1	1	1	4	4	20	12	
2	2736	都		山村 太郎	稲川 竜也	稲毛	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	3	3	2	2	1	1	25	21	
3	2880	Pale Blue Dot		池田 陽平	池田 和希	稲毛	3	3	5	5	4	4	3	3	1	1	6	6	6	6	6	6	34	28	
4	2916	Destino	M	関口 真秀	平尾 英治		10	10	8	8	5	5	10	10	3	3	UFD	14	4	4	2	2	56	42	
5	2593		M	亀山 寛達	井上 敦	稲毛	8	8	3	3	6	6	12	12	2	2	7	7	7	7	10	10	55	43	
6	2765	Kai Ona	GM	田中 郁也	田中 紀子	稲毛	1	1	2	2	1	1	2	2	DNC	14	DNC	14	DNC	14	DNC	14	62	48	
7	2395	Miracle		北島 龍一	井戸 達彦	葉山	12	12	9	9	13	13	6	6	10	10	5	5	3	3	3	3	61	48	
8	2707		GM	石塚 恒志	水野 本	浜名湖	7	7	11	11	12	12	9	9	9	9	4	4	5	5	7	7	64	52	
9	2719		GM	石川 光輝	志田 ひろこ	大阪北港	13	13	7	7	9	9	11	11	6	6	2	2	RET	14	5	5	67	53	
10	2958	Silver Arrow	M	米本 隆	高橋 夏樹	葉山	9	9	6	6	8	8	5	5	7	7	9	9	10	10	9	9	63	53	
11	2709	09 Magic		宮下 知之	総田 雄生	葉山	6	6	10	10	11	11	8	8	5	5	UFD	14	8	8	8	8	70	56	
12	2862			金子 謙一	大川 晃弘	江ノ島	11	11	13	13	7	7	13	13	11	11	8	8	9	9	RET	14	86	72	
13	2809		M	野口 優	杉田 智宏	稲毛	5	5	12	12	10	10	7	7	DNC	14	DNC	14	DNC	14	DNC	14	90	76	
スタート							スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート	スタート			
10:30:00							11:14:00	12:15:00	13:10:00	10:07:00	10:48:00	11:31:00	12:29:00												
トップ船F							トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F	トップ船F		
10:58:45							11:59:00	12:55:00	13:50:00	10:28:50	11:15:20	11:59:25	12:57:55												
レース終了							レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了	レース終了			
11:03:00							12:04:00	12:58:40	13:56:35	10:29:45	11:20:02	12:03:18	13:01:00												
風向		260	風向		260	風向		260	風向		260	風向		240	風向		240	風向		240	風向		240		
風速		m/s 2	風速		m/s 2	風速		m/s 3	風速		m/s 3.5	風速		m/s 4	風速		m/s 6	風速		m/s 7	風速		m/s 7		

### プレワールドマスターズ。和歌山テザー・アーリーサマー

5月23、24日、和歌山セーリングセンターで「テザークラス アーリーサマーレガッタ」が開催されました。今回は「ワールドマスターズゲームズ2021 関西 プレレガッタ」として、和歌山県セーリング連盟、ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会共同主催、NPO 法人和歌山セーリングクラブにご協力をいただき、13艇が集まりました。



初日は、前日の大荒れ模様から打って変わり、無～微風コンディションでした。スタートするも、ノーレースとなりました。二日目は315～295度の風向、4～6ktの軽風下で4レースが無事実施されました。

伊藤／村岸（江の島）は、細かいシフトと強い潮流を読みながら今年のスプリングレガッタに続き2レガッタ連続総合優勝（マスタークラス含む）となりました。

2位にはテザー級初レースの米本／小村（葉山）、3位には渡辺／真下（芦屋）。また、スーパーグランドマスタークラスは池田／秋吉（大阪北港）、グランドマスタークラスは石川／石黒（大阪北港）となりました。

初レースで2位に入賞した小村選手は「テザー級のレースに初めて参加して感じたことは、フリートとしてのレベルの高さです。初めたばかりの私に対し、皆様が知りうる情報をあますことなく開示くださるその風土により、誰でも簡単にすぐに溶け込める開かれたクラスであると非常に強く感じました。艇を入手したばかりの私に優しくお声がけいただいただけでなく、遠征のいろはをご教授いただいたお陰で不安なく存分にレースを楽しむことができました。さらに、レースに参加した選手の皆様も非常に温かく、海上・陸上問わず気軽に話かけていただき、紳士・淑女のクラスであると強く感じました。今回のイベントでヨット競技の面白さ・課題の再発見もあり、今後がより楽しみです。これから活動を続けて様々なレガッタに参加し、皆様と楽しみたいです」

ワールドマスターズゲームズは、和歌山セーリングセンターで開催されます。マスターズゲームズのセーリング競技で採用されているテザークラスですので、これを機会にテザークラスと一緒に楽しみましょう！



ワールドマスターズゲームズ2021関西 プレレガッタ  
 テーザークラス アーリーサマーレガッタ

主催:主催 日本テザー協会、和歌山県セーリング連盟  
 協力 NPO 法人和歌山セーリングクラブ  
 期 日:2021年5月22日(土) ~ 23日(日)  
 開催地:ナショナルトレーニングセンター(和歌山セーリングセンター)



Total Rank	13 Boats						Tasarクラス												ALL		
	SAIL No.	Fleet / Area	Boat Name	Skipper	Crew	Class	Race 1			Race 2			Race 3			Race 4			Worst Point	Total pt	Total Rank
							Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point			
1	2741	江ノ島	ZRex	伊藤 一石	村岸 恭明	M	1	1	1	2	2	2	3	3	3	1	1	1	3	4	1
2	2396	葉山		米本 隆	小村 克斗		7	7	7	1	1	1	2	2	2	8	8	8	8	10	2
3	2866	芦屋	弦風	渡辺 克充	真下 峻徳		5	5	5	5	5	5	1	1	1	7	7	7	7	11	3
4	2719	大阪北港		石川 光輝	石黒 克司	GM	9	9	9	6	6	6	4	4	4	2	2	2	9	12	4
5	2669	大阪北港	Suu	池田 俊則	秋吉 寿美子	SGM	2	2	2	7	7	7	6	6	6	4	4	4	7	12	5
6	2705	芦屋	Kaito	植田 泰平	植田 典子	GM	4	4	4	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	12	6
7	2861	大阪北港	prime	三輪 記裕	山田 竜也		3	3	3	4	4	4	7	7	7	6	6	6	7	13	7
8	2662	琵琶湖		秋山 紀夫	北村 重雄	SGM	10	10	10	10	10	10	8	8	8	3	3	3	10	21	8
9	2806	江ノ島	WILDROVER 123	田代 和史	菊池 幸二	SGM	6	6	6	12	12	12	11	11	11	9	9	9	12	26	9
10	2958	葉山	Silver Arrow	高橋 夏樹	総田 雄生		8	8	8	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	27	10
11	2676	芦屋	Isana	荒川 徹	岡本 憲二	SGM	11	11	11	8	8	8	9	9	9	13	13	13	13	28	11
12	2808	葉山	Martian Kitty	宮下 知之	石川 洋二	GM	12	12	12	11	11	11	12	12	12	11	11	11	12	34	12
13	2978	(和歌浦)	きいちゃん	中井 國雄	辻井 清	SGM	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	13	38	13

Date	23-May-21	23-May-21	23-May-21	23-May-21
Starting time	10:00:00	10:51:00	11:53:00	12:45:00
Finishing time	10:35:17	11:28:45	12:26:45	13:32:15
Race end time	10:39:27	11:35:20	12:30:58	13:35:35
Wind direction	315 °	295 °	280 °	300 °
Wind speed	4.0 kt	6.0 kt	5.0 kt	4.0 kt



**秋山・村山組優勝！第32回テザー級西日本選手権レポート**（写真撮影・提供 安澤厚男さん）

7月11日、兵庫県芦屋市・兵庫県立海洋体育館（芦屋マリセンター）で「第32回テザー級西日本選手権」が実施されました。

この大会は2021シルクロードヨットレース「奈良スポーツフェスティバル」の一貫として、奈良県セーリング連盟・日本テザー協会の共同開催で行われました。



快晴の空のもとで12チームが参加し、3レースを行いました。梅雨の晴れ間の絶好のセーリング日和で、風向は200度の風向で5~7m/sの安定したコンディションで行われ、1-1-1で秋山紀夫・村山豊組（琵琶湖）が優勝しました（グランドマスタークラス優勝含む）。



2位には、3-2-2と終始安定していた石川光輝・泉 香月組（大阪北港）（マスタークラス優勝含む）、3位には、2-3-3で長 義晴・浜田勇一組（芦屋）、スーパーグランドマスタークラスは池田俊則・秋吉寿美子組（大阪北港）が優勝しました。

◎テザーニューカマーの大南彩夏さんのコメントです

「私達は2人で約100kgの軽量ペアで、常にフルハイク、オーバーパワーのレースでした。テザーに乗るのは2回目で、まだ何も分かっていない私達に、陸でも海上でもたくさん声をかけてくださって、皆さんとても温かく、楽しくレースをすることができました。今大会では、テザーの皆さんのウェルカムな雰囲気を感じ、また大会に参加したいと思いました。私達に合ったチューニングやトリムを早く身につけたいと思います。たくさん海に出たくなりました。またよろしくお願いします！」





第32回 テーザー級西日本選手権大会

2021年7月11日

Total Rank	Sail No.	乗員			フリート / 水域	クラス	Race 1			Race 2			Race 3			総合	
		スキッパー	クルー1	クルー2			着順	ランク	得点	着順	ランク	得点	着順	ランク	得点	得点	順位
1	2663	秋山 紀夫	村山 豊		琵琶湖	GM	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1
2	2719	石川 光輝	泉 香月		大阪北港	M	3	3	3	2	2	2	2	2	2	7	2
3	2328	長 義晴	浜田 勇一		芦屋	GM	2	2	2	3	3	3	3	3	3	8	3
4	2916	関口 真秀	上松 慮生		江ノ島	M	4	4	4	5	4	4	5	5	5	13	4
5	2676	荒川 徹	松浦 裕子		芦屋	GM	8	8	8	7	5	5	8	8	8	21	5
6	2861	三輪 記裕	山田 竜也		大阪北港		5	5	5	4	OCS	13	4	4	4	22	6
7	2669	池田 俊則	秋吉 寿美子		大阪北港	SGM	7	7	7	11	9	9	6	6	6	22	7
8	2655	岡本 憲二	岡本 かほる		芦屋	SGM	6	6	6	8	6	6	11	11	11	23	8
9	2623	植田 海透	高木 一希		芦屋		9	9	9	9	7	7	9	9	9	25	9
10	2808	石川 洋二	宮下 知之		葉山	SGM	10	10	10	6	OCS	13	7	7	7	30	10
11	2806	田代 和史	菊池 幸二		江ノ島	SGM	11	11	11	12	10	10	10	10	10	31	11
12	2810	大南 彩夏	森口 史奈		芦屋		12	12	12	10	8	8	12	12	12	32	12

**ミッドサマーレガッタ (猪苗代) 8/28-29**

**オータムレガッタ (大阪北港) 9/19**

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止

**第 36 回全日本選手権 (浜名湖) 10/23~24**

**万全準備で臨んだ本吉夏樹・松苗幸希が優勝！ テーザー全日本**

10月23、24日、静岡県立三ヶ日青年の家ハーバーで「第36回テーザー全日本選手権」が開催されました。大会初日は北西20~25ノットの風のハードコンディションで2レース、2日目は南西軽風で2レース、全4レース実施しました。

初日、予報よりも強く北よりの風が吹き込み、1レース目は風向320度、風速20ノット前後で始まりました。フィニッシュする頃にはさらに風が上がり、第2レースは最大25ノットを超えるガストが入るハードなコンディションです。

第1レースのトップは本吉夏樹／松苗幸希チーム（無所属／葉山F）、2位は山村太郎／稲川竜也（稲毛F）、第2レースは本吉／松苗、2位には昨年覇者である伊藤一石／村岸恭明（江ノ島F）が入りました。

第2レースが終わるとトラブル艇続出。サバイバルコンディションとなり、一旦ハーバーへ戻り風が落ち着くのを待つも、14時半を過ぎても状況は変わることなく初日は2レースのみとなりました。



2日目は各艇整備し全艇が出場。素晴らしい秋晴れ、コンディションも風速5~7ノット、風向220度の風で熱いレースが繰り広げられました。

2時間以上の風待ち後、南から風がそよそよと入ってきた第3レースもトップは、本吉/松苗です。着順2位の三輪記裕/山田竜也（大阪北港）は痛恨のUFDで2位は山村/稲川となりました。

最終レースは徐々に風が落ち出し、2、3レグのあたりでは一度無風状態にもなり、コース短縮もあったコンディションの中、トップは、関口真秀/上松盧生（江ノ島F）、4レース成立したことで1カットが発生、総合優勝は、本吉/松苗となりました。



今大会の入賞は、スーパーグランドマスタークラスは池田俊則/秋吉寿美子（大阪北港F、総合8位）、グランドマスタークラス小松 充/石原裕二（葉山F、総合6位）、マスタークラスは伊藤/村岸（江の島F、総合3位）、総合での入賞は2位山村/稲川、3位伊藤/村岸、4位北島龍一/井戸達彦（葉山F）、5位長谷川勝啓/長谷川帆風（浜名湖F）、6位小松/石原となりました。

今大会はコロナ禍による影響で参加艇22艇と例年よりも少し寂しくなりましたが、長く楽しんでいるテザーのメンバーに加えて、今年大学を卒業してからテザーに乗り始めた大学院生たちが新しく参加しました。

また、長い風待ちの間に優勝の本吉艇の周りに選手が集まって質問が飛び交い自然とクリニックが開催され、和気あいあいの中にも、みんなが勝ちに対する意欲の高いセーラーであるテザーフリート仲間が変わりありませんでした。

ニューフェイスの入賞もあり、親しみやすいディングーとしての今後の発展に期待できるような大会となりました。



### 2021年度第36回テザー全日本選手権大会

順位	艇番号	SKIPPER	CREW	FLEET/AREA	CLASS	1 R 10月23日				2 R 10月23日				3 R 10月24日				4 R 10月24日				レース委員長		
						着順	確定	得点		着順	確定	得点		着順	確定	得点		着順	確定	得点		合計	最終	順位
1	2988	本吉 夏樹	松苗 幸希	無所属/葉山		1	1	1		1	1	1		1	1	1		2	2	2	5	3	1	
2	2736	山村 太郎	稲川 竜也	稲毛		2	2	2		3	3	3		3	2	2		11	11	11	18	7	2	
3	2741	伊藤 一石	村岸 恭明	江ノ島	M	18	18	18		2	2	2		6	5	5		3	3	3	28	10	3	
4	2395	北島 龍一	井戸 達彦	葉山		3	3	3		6	6	6		4	3	3		8	8	8	20	12	4	
5	2657	長谷川 勝啓	長谷川 帆風	浜名湖		6	6	6		9	9	9		17	16	16		5	5	5	36	20	5	
6	2761	小松 充	石原 裕二	葉山	GM	5	5	5		4	4	4		15	14	14		18	18	18	41	23	6	
7	2707	石塚 恒志	水野 本	浜名湖	GM	13	13	13		5	5	5		9	8	8		14	14	14	40	26	7	
8	2669	池田 俊則	秋吉 寿美子	大阪北港	SGM	12	12	12		10	10	10		20	19	19		7	7	7	48	29	8	
9	2705	植田 泰平	植田 典子	芦屋	GM	14	14	14		11	11	11		10	9	9		9	9	9	43	29	9	
10	2719	石川 光輝	中林 正任	大阪北港	GM	16	16	16		8	8	8		7	6	6		16	16	16	46	30	10	
11	2808	宮下 知之	石川 洋二	葉山	SGM	7	7	7		13	13	13		13	12	12		12	12	12	44	31	11	
12	2663	秋山 紀夫	村山 豊	琵琶湖	GM	4	4	4		RET	RET	23		19	18	18		10	10	10	55	32	12	
13	2866	渡辺 克充	真下 峻徳	芦屋		RET	RET	23		RET	RET	23		5	4	4		6	6	6	56	33	13	
14	2743	石川 櫻	西代 周	大阪北港		RET	RET	23		RET	RET	23		8	7	7		4	4	4	57	34	14	
15	2916	関口 真秀	上松 慮生	江ノ島	M	RET	RET	23		RET	RET	23		14	13	13		1	1	1	60	37	15	
16	2862	金子 謙一	大川 晃弘	江ノ島		8	8	8		12	12	12		18	17	17		21	21	21	58	37	16	
17	2881	軽部 香	軽部 竜也	稲毛	M	10	10	10		RET	RET	23		16	15	15		13	13	13	61	38	17	
18	2764	小沢 拓身	高山 勝	琵琶湖	SGM	11	11	11		7	7	7		22	21	21		22	22	22	61	39	18	
19	2861	三輪 記裕	山田 竜也	大阪北港		9	9	9		14	14	14		2	UFD	23		20	20	20	66	43	19	
20	2396	小村 克斗	森 龍哉	葉山		17	17	17		RET	RET	23		12	11	11		15	15	15	66	43	20	
21	2605	河合 亜美	赤池 俊章	無所属/葉山		RET	RET	23		RET	RET	23		11	10	10		19	19	19	75	52	21	
22	2806	田代 和史	菊池 幸二	江ノ島	SGM	15	15	15		RET	RET	23		21	20	20		17	17	17	75	52	22	

## 継続は力なり！関口／上松初優勝、テザーウィンターレガッタ

12月12日、愛知県蒲郡市・豊田自動織機 海陽ヨットハーバーで「2021年テザーウィンターレガッタ」が開催されました。愛知県セーリング連盟プラクティスレースに相乗りという形で、愛知県連との共催で実施となりました。（レポート・写真提供／日本テザー協会）



参加艇5艇というこじんまりした大会となったウィンターレガッタ。とはいえ、葉山・江ノ島・琵琶湖・大阪北港・芦屋と、全国からレース&遠征好きが集まりました。

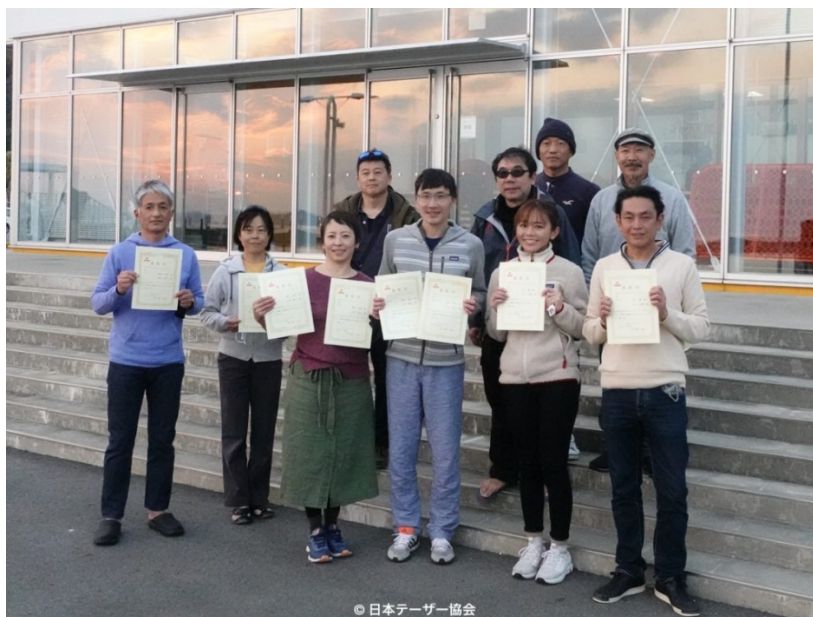
無風の朝、陸上AP旗から始まり、約1時間の風待ち後、出艇するも、風が安定せず再び無風となり、AP+H旗が掲揚され一旦ハーバーバック。しかし帰着時には再びそよそよと吹き始め、「風があるのに陸上では待てない！」とレース好きの5艇は全艇がAP降下前にレース海面で練習&待機という鼻息の荒さ。ようやく、ある程度風が安定してAP旗が降下された時は、もう13時になろうとしていました。

単日開催レガッタのため、14:30以降の予告信号は無く、また2レース以上でレガッタ成立のため、ここからは各艇お互いにゼネリコ禁止！沈禁止！と2レース実施に前のめり。1レース目は南西風4knotでスタート。一上は関口・上松組が先行するも、下マークラウンディングで石川・石川組が追い抜き、そのままフィニッシュ。途中風が無くなるかとヒヤヒヤしながら、でも何とか全艇がトップ艇から5分以内にフィニッシュとなりました。

急いでスタートラインに戻ると、運営チームはプラクティスレースの複数クラスの回航やフィニッシュでお忙しそう…。他クラスのレース状況と時計を睨めっこしながら、これは厳しいかと待っていると、さすがの愛知県連運営チーム。風向も大きく変わる中、迅速なマーク打ち替え・アウター設置からの、タイムリミット14:30に予告信号が上がります。もう絶対ゼネリコ禁止！そして北西風6knotで振れもある中、2レース目がオールクリアでスタートとなりました。あとは走るだけ！一上は植田・植田組が先行し、関口・上松組、石川・石川組が追いかける展開。この段階で上位3艇は同スコアとなる計算です。ここからが各艇の思惑で二上レグは左右にセパレート。右に突っ込んだ関口・上松組が左に行った植田・植田組、石川・石川組を押さえ、そのままフィニッシュ順位となりました。

結果、関口・上松組が2-1で優勝、石川・石川組が1-3で2位と女子ヘルムが上位を飾り、3位/激戦区のGMクラス優勝は植田・植田組となりました。愛知県セーリング連盟の皆さまの執念の素晴らしい運営のおかげでレガッタ成立となったこと、感謝です。ありがとうございました。

今年度のテーザー公式戦はこれが最後となり、次は来年のスプリングレガッタ@葉山です。テーザークラスは熱いレース&楽しい遠征をお約束します。我こそは楽しみたい！という方のご連絡をお待ちしています。



© 日本テーザー協会



## テーザー ウィンターレガッタ

2021年12月12日  
於 豊田自動織機海陽ヨットハーバー

Sail No	Skipper	Crew	Team	Class			1R		2R		3R		4R		Total		
				M	GM	SGM	Ord	Pts	Ord	Pts	Ord	Pts	Ord	Pts	Gross	Net	Ord
2719	石川 櫻	石川 光輝	大阪北港フリート				1	1	3	3					4	4	2
2764	小沢 拓身	高山 勝	日本テーザー協会			*	4	4	5	5					9	9	5
2705	植田 泰平	植田 典子	芦屋フリート		*		3	3	2	2	No Race				5	5	3
2748	宮下 知之	石原 裕二	日本テーザー協会		*		5	5	4	4	No Race				9	9	4
2916	関口 真秀	上松 慮生	江ノ島フリート	*			2	2	1	1					3	3	1
Wind direction							230°		320→310°								
Wind speed							4Knt		6Knt								
Start time							13:27:00		14:35:00								
First Boat time							14:12:55		15:01:18								
Last Boat time							14:17:53		15:03:47								

## 特別寄稿 ～クラスルール「C6」について

乗員重量に関するクラスルール「C6」にはこれまで多くの議論がありました。新しくテザーを乗り始めた方にも、経緯と議論ポイントを知っていただくため、JTA メジャー 軽部さんに寄稿いただきました。

### ・乗員の体重と艇体重量に関するクラスルール

新たにテザーのレースに参加されるようになった方向けに、クラスルール「C6」について説明します。テザーの特徴的なクラスルールのひとつに「C6」という項目があります。これは軽量チームの艇に追加のバラスト搭載を義務付けるルールです。具体的には、乗員の合計体重で 130kg が基準となります。これに満たない場合、その不足分の重さのバラストを艇に積む必要があります。ただし最大で 12kg までで良いことになっています。例えば、合計体重が 120kg のチームは 10kg 分の追加バラストが必要になります。110kg のチームは 12kg となります。

ちなみにテザーの艇体重量は 68kg 以上と定められています(クラスルール「D3」)。テザーは艇体重量が 68kg 未満で作られている艇も多くありますが、そういった艇はレースに出る際は最低でも 68kg 以上になるように調整する必要があります。「C6」で要求されているのは、この 68kg にするためのバラストとは別になりますのでご注意ください。乗員の体重に関わらずどの艇も最低 68kg にする必要があり、軽量チーム(130kg 未満)はさらに追加分のバラストが必要になるということです。上の例で言うと、120kg のチームは追加バラスト分を含めた艇体重量が 78kg 以上でなければなりません。110kg のチームは艇が 80kg 以上でなければなりません。

補足するとクラスルール「C6」と「D3」で必要になるバラストはコックピット内に固定しておかなければなりません。乗員がバラストを持ったり、身に着けた状態でセーリングするというのは不可です。また大会期間中は搭載場所を変えることも不可です(クラスルール「解釈 26」)。日によって前後バランスを変えてみるということはありません。

乗員の体重は受付の際に計測することになっています。その他にもレース後の抜き打ち計測時に再計測することもあります。体重計測の際の服装の規定は「C6.1」で具体的に述べられています。

### ・日本国内での「C6」の運用状況

ここから「C6」ルールの運用状況について説明します。2021 年度の全日本選手権の計測では乗員体重のことが話題になることはありませんでした。これは全日本選手権ではクラスルールを変更し「C6」は不適用となっていたためです。レース公示の適用規則の項には「C6 削除」と記されていました。日本テザー協会(JTA)が主催するレースでは、クラスルールを変更することがあります。実際のところ「C6」に関しては、全日本選手権と西日本選手権以外のレガッタでは近年すべて不適用として行ってきました。全日本と西日本の 2 つの選手権ではクラスルール通り適用した年もあれば不適用とした年もあります。ここ 10 年間で見ると、2019 年までは適用して実施してきました。2020 年と 2021 年の 2 年間は不適用としました。

大会でクラスルールを変更するかどうかは、主催団体ごとにその総会で決めます。テザークラスは国際的にはいくつかのリージョンやディストリクトという単位で構成されていますが、日本(JTA)はその中のひとつのリージョンです。JTA の総会で不適用を決めれば、JTA が主催する大会では変更して良いことになっています(クラスルール「解釈 29」)。JTA では過去の総会で「C6」不適用を決議しています。2009 年の和歌山ワールドの後からしばらくの間は全日本と西日本選手権で「C6」を適用していましたが、2019 年度の JTA 総会において向こう 2 年間の「C6」適用を見直す提案がありました。会員に諮ったところ不適用を支持する意見が多かったことから、ここ 2 年間は「C6」サスペンドを基本方針として運用しています。

### ・「C6」運用についての意見

セーリング競技では体重の重いチームと軽いチームそれぞれに有利不利があるはずですが、「C6」は軽量チームのみにそのアドバンテージを失わせるルールであり、その公平性には疑問が呈せられます。「C6」に対しては賛否双

方の考えがありますが、軽量チームにとってのみ不利が多いことから日本では反対の意見の方が多いようです。日本のテザーセーラーは合計体重が130kgに満たないチームがそれなりに存在します。男性同士のペアはともかく、男女ペアや親子ペアなどの多くはこの「C6」の対象となります。2019年の総会で「C6」サスペンドが提案された背景には、体重を気にせずに様々な人が気軽にテザーに参入しやすいようにしようという意図もありました。

ではいつそのこと日本では恒久的に「C6」を不適用にしてしまっただろうか、という考えもあるかと思えます。そうならないのは世界選手権や海外との関係を見捨てることはできないからです。ワールドつまり世界選手権では「C6」が必ず適用されます。と言うより「C6」以外にも含めてすべてのクラスルールが原文の通りに適用されます。ワールドではクラスルールを変更することが認められていないからです。このためワールドに参加しようとするチームは体重ルールと無関係でいることはできません。そうするとやはり普段からバラスト搭載してその感覚に慣れるなどの対応が必要になります。また日本でも数年に1回はワールドを開催します。このため海外のワールドに遠征しようとするチームでなくても、ある程度の期間テザーの活動を継続していればワールドに参加する機会は訪れます。そういう意味では日本のほとんどのチームにとって「C6」は無関係ではられません。

「C6」については長い間に積み重ねられた議論があり今に至っています。海外、特にオーストラリアでは「C6」を維持しようとする勢力が強いようですが、不支持の意見もあります。過去のクラス全体の会議の場で、「C6」を見直すための取り組みのアイデアを日本から出したこともありますが採用には至りませんでした。この議論は最近では膠着したままで進んでいないのが実情です。ただ結論は別にしても、「C6」について海外勢と議論するためにも「C6」を適用して大会を実施した経験が必要ではないか、という考えがあります。「C6」撤廃のために「C6」を経験するというのも変な感じがしますが、たしかにまったく経験せずにその問題点を語るのには説得力を欠くという意見は頷けるところがあります。日本でも「C6」を適用すべきという立場にはこのような考え方もあります。

「C6」を巡る様々な意見については紙面では述べきれませんので、詳細は周囲にいるテザーの先輩方に聞いてみてください。支持にしても不支持にしても、様々な見解があるはずで、今年度の総会では次年度以降の「C6」適用について協議する予定になっています。新たにこのクラスに参入された方にも、自分の立場にとって、またクラス全体にとってどうするのが良いか、考えてみていただきたいと思えます。

## -- 関連するクラスルール --

### C.6 乗員重量

C.6.1 テザーは全ての公認大会のレース中、乗員の総体重が最低130kgなければならない。計測時の服装は、乾燥したシャツとショーツまたは水着、あるいはこれらと同等のものでなければならず、靴は脱いだ状態とする。

C.6.2 このように計測して、合計で130kg以下である乗員は、大会期間を通して少なくとも乗員体重と130kgとの差に相当する重さのバラストをコクピットに搭載すれば、レースに参加してもよい。このバラストは12kgを超えて搭載する必要はない。

C.6.3 公認大会では、レースコミッティーは各乗員の体重を計測し記録しなければならない。

C.6.4 乗員各自は、すべてのレース中最低130KG以上であるよう、確実に維持しなければならない。

C.6.5 女性だけの大会やジュニアの大会など、その性質上当然であるような特別な大会では、ローカル、ナショナル、インターナショナルの大会主催者が最低乗員重量の制限値を下げてよい。

### D.3 艇体重量

D.3.1 艇体重量の下限值68kgがクラスレースに対して適用される。艇体重量が下限値に満たないボートは不足分のバラストをコクピット内に安全に固定しなければならない。艇体重量を計測するときは、ボートは乾いた状態であり、シュラウドプルバック、ハイキングストラップおよびその調節用ロープとショックコード、インスペクションポートカバー、その他常時固定されている艀装品を付けた状態でなければならない。ジブファーラーおよびファーラーラインと常

時固定された台座へ装着される取り外し可能なコンパスは、レース中、常に装着している場合はハル重量に含めてよい。これら以外の艀装品は、重量計測の前に取り外さなければならない。

D.3.2 艇体重量が規則 D.3.1 で特定された下限値を超過した分は、規則 C.6.2 で要求されるバラストとしてカウントしてもよい。

#### 解釈 26

クラス規則 D.3.1 および C.6.2 で要求される全てのバラストは、コックピット内に安全に固定しなければならない。その方法としては、スウォートを支える支柱に取り付ける、スウォートの裏側にネジ止めする、センターケースのまわりに固定する方法となるであろう。バラストはシリーズやレースの間、動いてはいけない。

#### 解釈 29

「公認大会」(規則 C.2.1, C.6.1, C.6.3 及び C.7 参照)とは世界テザークラス協会あるいはテザーリージョン、ディストリクト、フリートによって主催された、または承認された大会を意味する。これらの大会におけるテザーのクラスレースはテザークラス規則によって制御されるが、テザーリージョン、ディストリクト、フリートの年次総会あるいは特別総会で規則または条文を適用しないことが決定された場合にのみ変更してよい。世界テザークラス協会によって主催された大会ではクラス規則の変更をしてはならない。

#### 編集後記

ずるずると編集作業が遅れてしまいとうとう年の瀬になってしまいました。幸か不幸か、今年度公式レースも全て終えウインターレガッタを見事勝利した関口さんからも滑り込みでレポートをいただきました。昨年同様コロナ禍に振り回され、今後も見通しが立ちにくい昨今ですが、個人的にはレースこそ出れてないものの週末ごとに葉山の海でテザーや SUP に乗って過ごせるというのは、本当にありがたいもだなあと感謝しています。来年また皆さんと元気に海で逢えることを愉しみにして編集後記とさせていただきます。葉山スプリングでお待ちします。(葉山フリート: ソニーヨット部 小松 利英)